



吉村大阪市長に抗議し撤回を求める集会

集会決議を採択!!

9月12日(水) アネックスパル法円坂において「全国学力テスト結果を人事評価に反映させるとした吉村大阪市長に抗議し撤回を求める集会」を行い、1000人を超える組合員が結集しました。集会では、岡本委員長が「今回の市長発言は今までの大阪の教育を破壊するものであり、なんとしてでも撤回させなければならない」とあいさつしました。



松岡書記長から「点数主義や競争主義に拍車がかかり、子どもの個性や才能が失われる事になる」等の問題点、「全国学テを人事評価に反映させるより、教職員の増員が必要」等、今後の取り組みと方針を説明しました。また、参加者からも、「市長の方針が子どものためになるとは思えない」「教育は数字のみではかることができるものではない」などといった指摘が相次ぎました。そして、集会では、吉村市長に対し、方針の撤回を求める

決議を採択しました。

(集会決議は、ホームページにアップしています。)



謹んで台風災害のお見舞いを申し上げます。
このたびの台風21号に伴う暴風雨により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

教職員の勤務労働条件 ならびに施設設備の改善に関する要求書 教育委員会に手交!!

交渉の中で、岡本委員長は、「本日手交した要求書は、いずれも現場の教職員にとって切実な要求であり、教育委員会はこの趣旨を十分踏まえた誠意ある回答を行うよう要請する。また、今後、誠意を持って交渉・協議を行うことを求めておく。」と質しました。これに対し、教育委員会からは、井上教務部長が、「多岐にわたる本日のご要求につきましては、その趣旨を踏まえ、勤務労働件にかかわっては誠意をもって協議いたしてまいりたい。」と回答しました。



教職員を分断する人事評価制度には断固反対! 新たな人事評価制度の導入に反対する署名 2,111筆を教育委員会に手交!

市教組は7月31日、教育委員会に対して、新たな人事評価制度に反対する、2,111筆の署名を手交しました。新たな人事評価制度が各学校園に通知されて以降、市教組は、緊急集会や学習会を開催し、導入反対の申し入れを行ってきました。また、導入反対のための署名を呼びかけ、2,111筆の賛同を得ました。

教育委員会は、この反対署名を真摯に受け止め、直ちに導入を撤回すべきです。



広報部メモ

今年、大阪北部地震や豪雨、そして台風21号などにより、大阪でも大きな被害が出た。学校現場では、子どもの安全を守るために、いろいろな対策がとられたが、教職員の安全については、何の対策もとられていない。腹立たしい限りである。(ま)

2018年度人事院勧告

◆ 月例給・ボーナス 5年連続引上げ

人事院は8月10日、国会と内閣に対し国家公務員の給与等について、5年連続となる月例給とボーナスを引上げる勧告・報告と、定年延長の意見の申出等を行いました。（※主な内容は以下のとおり）



◆**行政職俸給表(一)** 初任給は、1,500円引き上げ。若年層についても1,000円程度の改定。その他は、それぞれ400円程度の引き上げを基本に改定（平均改定率は0.2%）。ボーナス支給月数を0.05月分引き上げ、4.45月に改定（現行4.40月）

◆**実施時期** 俸給表：2018年4月1日 ボーナス：法律の公布日

◆ 定年を段階的に65歳に引き上げるための意見の申出

○定年制度の見直し

- ・一定の準備期間を確保しつつ、定年年齢を段階的に65歳に引き上げることとした上で、速やかに実施される必要があること。
- ・定年の段階的な引上げ期間中は、現行の再任用制度を存置すること。
- ・60歳以降の働き方等について、あらかじめ人事当局が職員の意向を聴取する仕組みを設ける。

○定年前の再任用短時間勤務制

- ・60歳以降の職員の多様な働き方を可能とするため、職員の希望に基づき短時間勤務を可能とする制度を導入すること。

○60歳を超える職員の給与

- ・民間企業の60歳を超える従業員の給与の状況等をふまえ、60歳を超える職員の年間給与について、60歳前の7割の水準に設定すること。

10月の組合費の引き落としは

10月19日(金)

※口座登録がまだの組合員は
市教組本部まで連絡を！

※市教組組織拡大のため
分会ひとり加入運動を！

夏休みの取り組みから

◆エイサー講習会

7月26日、大正区の平尾小学校にて第30回エイサー講習会を開催し、80人以上が参加しました。オープニングは大正沖縄子どもエイサー団による見本演技。躍動感あふれる踊りと元気のいい掛け声に魅入られます。講習会開始。講師の安川さん（住吉川小分会）がエイサーの代表的な4曲（仲順流り・久高・トゥータンカーニー・唐船ドーイ）の演技指導を行いました。1曲をフレーズごとに分けながら、バチの動かし方、足の運びや体の動きを丁寧に説明。団体演技での美しく見えるポイントもアドバイスいただきました。感謝の気持ち。エイサーを踊ること、それを支えてくれる人々、見てくれる人々、そして生をつないでくれた先祖への感謝をこめて踊ることを、子どもたちに伝えてほしいとまとめられました。



◆ ダンス講習会開催「関西教育ダンス研究会」の講師を招いて

7月31日、東部支部が、関西教育ダンス研究会の講師を招いて、運動会にむけたダンス講習会を開催し、約40人の参加がありました。この講習会は30年以上前から支部で取り組んできた歴史あるもので、各校の運動会を支えてきたものです。最近のダンスブームの盛り上がりもあり、ダンスの内容もより質の高さを求められる傾向の中で、基本のステップから、振り付けまで5つの演目を丁寧に教えていただきました。参加者は汗をかきながらも真剣そのもので、2時間の講習終了後も振り付けを確認し合う姿も見られました。秋の運動会で子どもたちの笑顔が弾けること間違いなしの取り組みとなりました。



小黑板

大雨、地震、台風と自然が猛威をふるっている。被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。

何か起きる度に、自分の周りにおける大切な人々の事を考える。普段は挨拶程度の付き合いしかなくても、会話をし助け合う気持ちが心に響く。いざというときの備えは物も大切だが、どんな時も困った時はいつでもそばにいてくれる誰かが居る、そんな当たり前の心を備えておきたい。(う)